

令和元年度第2回大和市社会教育委員会議定例会（第31期） 会議録

会議名（審議会等の名称）	令和元年度第2回大和市社会教育委員会議定例会（第31期）		
開催日時	令和元年7月1日（月曜日）午後3時00分～午後5時		
開催場所	文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601講習室		
出席状況	委員	10人：伊藤委員、今宮委員、大澤委員、尾辻委員、久津間委員、齋藤（正）委員、齋藤（道）委員、中山委員、長谷部委員、丸田委員	
	関係各課	5人：文化スポーツ部長、文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ課長、こども部こども・青少年課長	
	事務局	2人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員1人 学び交流係（259-6104）	
	傍聴人数	0人	
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部非公開
非公開・一部非公開の場合はその理由			
審議又は検討経過及び結果	<p>1 会議次第</p> <p>（1）あいさつ</p> <p>（2）議長・副議長選出</p> <p>（3）協議事項</p> <p>1）点検・評価シート（2）大和市生涯学習推進計画について（教育委員会所管分）</p> <p>2）令和元年度社会教育委員会議から選出する委員について</p> <p>3）令和元年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>4）家庭教育支援に関する事業について</p> <p>（4）その他</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p><開会></p> <p><委嘱式></p> <p><教育長あいさつ></p> <p><各委員あいさつ></p> <p><議長・副議長選出></p> <p>議長：丸田委員</p> <p>副議長：三好委員</p> <p><協議事項></p> <p>「1）点検・評価シート（2）大和市生涯学習推進計画について（教育委員会所管分）」について、事務局より説明。</p> <p>（議長）新しく社会教育委員になられた方もいるため事務局からの説明を補足すると、大和市生涯学習推進計画の後期計画の期間が2015年から2018年までとされ、昨年度が最終年度であった。この計画は、生涯学習について大和市がどのように進めていくか、3つの大きな項目を施策目標として定め、合わせて個別目標をつく</p>		

り、それらがどうだったかを行政として評価したという説明が先ほど事務局からあった。

施策の個別目標についてそれぞれ評価し、総合的な評価の達成度を最後に記載するという構成である。この評価については、最終目標値として定めた数値を達成したかどうかを評価・判断したという説明であった。

では、時間も限られているため、ご質問があれば一括して挙手をお願いしたい。

(委員) 先ほどの説明の中で、A評価が「施設の整備と充実」の1つだけであった。C評価が3つ、残りがB評価となっている。B評価の中でももっとAに上がるものがあるかもしれないかと思える。また、C評価のところでもB評価に上げてよいのではないかと思う所がある。

(議長) 行政の評価が少し厳しいのではないかとの意見があったが、評価について事務局より説明をお願いします。

(事務局) まず、「芸術・文化・歴史に関する学習機会の提供」について、コンサートや講座など多種多彩なものを実施しているが、最終目標値と平成30年度の実績を比較すると、6項目中2項目が目標値達成、残り4つが未達成という中では、次年度以降の振興も考慮しC評価とした。

また、「人材や団体の育成と活用に関する支援」については、各学習センターで行っている学習センターまつりの参加団体数や団体支援件数などが、平成30年度において未達成となっていたことからC評価とした。ただし、市として何も手を打っていないということではなく、重点的な課題だととらえているため、新たな課題を見据えた評価ととらえていただければと考えている。

(議長) 事務局より説明いただいたが、他に意見は無いか。

指定管理者に委託し、事業を実施しているが、事業数の増加や評判などはいかがか。

(事務局) 学習センターについては今年の4月から全館指定管理となったところであり、事業の引継ぎについて課題は有している。しかし、一方で民間企業ならではの視点、ノウハウやホール・図書館・学習センターの連携などのメリットも多くあり、現在はまだ事業引継ぎの途中で成果を見極めていところであるが、指定管理者に変わっても、より生涯学習を提供していこうという部分に変わりはないため、今後も連携を密にしてより良くしていきたいと考えている。

(議長) ここで、これまで7年間の後期計画が終了し、2019年度から2023年度まで引き続き、健康都市やまとMANABI計画へと変わっていくが、年度ごとの参加者数や事業数に一喜一憂せず、これまでの計画期間7年間のスパンの中でどうであったかを反省し、次の健康都市やまとMANABI計画に生かしていくという形でやっていただければありがたいと考える。

では事務局から大和市生涯学習推進計画について報告いただいたが、承認してよいか。

(委員) 異議なし。

(議長) では、引き続きよろしく願います。

～休憩～ (関係各課退席)

～再開～

<協議事項>

「2) 令和元年度社会教育委員会議から選出する委員」について事務局より説明。前回会議にて仮決定され、残りの青少年問題協議会の委員については、本会議の議長が出席するとのことで、以下のとおり決定。

青少年問題協議会委員：丸田委員

「3) 令和元年度社会教育委員に関する研修会等」について事務局より説明。前回会議にて仮決定した内容の確認と、新委員の研修会等参加者について互選により、以下のとおり決定。

- ・ 県社会教育委員連絡協議会研修会：三好委員・丸田委員・伊藤委員
- ・ 社会教育委員連絡会議：丸田委員・今宮委員・三好委員
- ・ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (小田原市)：今宮委員・齋藤(正)委員・久津間委員
- ・ 人権啓発研修講座：長谷部委員・尾辻委員・伊藤委員
- ・ 県公民館連絡協議会第 61 回県公民館大会：齋藤(正)委員・中山委員
- ・ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (厚木市)：大澤委員・尾辻委員・齋藤(道)委員

「4) 家庭教育支援に関する事業」について、図書・学び交流課の社会教育主事より説明。

(市) これまでの経緯からご説明すると、平成 27 年 1 月に行われた社会教育委員と教育委員の情報交換会をきっかけに、社会教育が行うべき課題として「地域資源を活用した家庭教育支援等の必要性」が挙げられ、市内のコミュニティセンター (以下、コミセン) を活用して社会教育としての家庭教育事業を実施する提案がなされた。その後、家庭教育支援事業を市の社会教育主事等が企画し、社会教育委員を中心に学校やコミセンを会場としたアウトリーチ型の講座について検討され、受講者同士で、問題を共有した仲間づくりなどによる交流と、「子育てをみんなで応援する意識」を高め、家庭の教育力充実と、地域の教育力による子育て環境の改善を狙いとして、平成 30 年度より社会教育委員会議主催で家庭教育支援事業を実施しており、今年度で 2 年目の開催となる。今年度の講座については、前回会議の内容を踏まえ、講座を 1 回完結の内容で開催し、会場を柳橋コミセンで講義、引地台公園で実習する形とした。前半には市の社会教育主事による講義を約 40

分、学習センターの工作体験を約 10 分、親子で参加し、体験学習ができる体験マップの作成を 40 分、その後会場を移動し、引地台公園にて佐々木洋さんを講師に、自然体験をテーマとした親子でできる体験学習の実践と、最後にふりかえりを行う内容とした。参加対象は市内在住・在勤の小学生の子を持つ保護者、定員を 40 名とし、保育の希望者があれば 1 歳半以上の未就学児 20 人程度を受け入れ予定。申し込みは夏休み明けの予定で、柳橋小学校と柳橋小学校 P T A のご協力をいただき周知を行う予定である。

(議 長) 前回までの話し合った部分が形になって見えてきたところである。只今の事務局からの説明について、ご意見等伺う。

(委 員) 時間が 13 時から 16 時ということで、3 時間であるが内容が盛り沢山となっており、実施できるのかどうか。

(委 員) 公園への移動時間などもある。

(市) 全体の時間割は、講義からワーキングまで 1 時間半、公園での体験学習に 1 時間半の予定である。工作体験については当日の進み具合をみて省略するなど考えている。

(委 員) 参加対象者も小学生の保護者ということであるが、未就学児の保育ありというのは、兄弟ということか、未就学児も参加してよいということか。

(市) 受講対象は小学生の子を持つ親であるが、下の子など兄弟の保育を想定している。

(委 員) 保育室を用意して、20 名程度の兄弟の保育を想定しているということのようだ。他にご意見を伺う。

(委 員) 今回は、柳橋小学校の保護者限定となるか。

(議 長) 前回の会議では、久津間校長にお願いし、草柳小学校へお願いしようという話であった。

(委 員) 学校を限定しなくてよいのではないか。

(委 員) P T A へ何人出して下さいとなると、半強制的に人は集まるのだとは思いますが、学校を限定することはどうか。

(委 員) 周りの学校からも参加いただく方がよいと思うが、チラシをまくのであれば一般に募集をしておき、時間差を付けてという方法もあるのではないか。

(委 員) 昨年草柳コミセンでやった際は、市の広報やチラシやポスターで市内のコミセンなど市内全体に周知し、小学校からも申し込みがあると思っていたが、実際は少なかった。学校を指定した方がよいと思う。

(議 長) 柳橋小学校に限定して実施しても面白いと思う。それを見聞きした引地台小学校の方から、「面白そう」、「やってみたい」という声が聞こえてきたら、次年度は引地台小学校を対象にやるなど、徐々に市内へ広がっていったらよいと考える。今回の講座を成功させて評判になれば、他の学校へ広げていくことが出来る。1 発勝負で打ち上げ花火のように終わるのではなく、それをどのように根付かせるのか。講座を見た人が引地台公園にいて、「面白そうだな」「私たちも出てみたいな」と思えば次年度その学校をタ

ーゲットに実施すると広がっていくのではないか。そのような方法もある。

(委員) 柳橋方面で実施するというので、柳橋小学校PTAの役員はまだ決まっていないが、この日に実施する予定であることは伝えている。ただし、まだ全体へは周知できていない。

また、柳橋コミセンは柳橋小学校と福田小学校からの利用が一部ある。

(委員) 引地台小学校の人はいないか。

(委員) 引地台小学校は別のコミセンがあるためそちらを利用している。ただし、引地台公園では柳橋小学校の子も、引地台小学校の子も遊んでいる。

(議長) それでは、様々なご意見をいただいたがどうするか。柳橋小に限定するか、柳橋小と福田小にするか。

原則、柳橋小の保護者を対象とするということによいか。

(委員) 異議なし。

(議長) もう一つ、3時間盛りだくさんではないかという意見があったが、工作体験をカットしつつやるということによいか。2日に分けると大変ではないかと考えるため、1日開催によいか。

(委員) 異議なし。

(議長) 次に学習主題については、まず講義、体験学習、体験マップ作成、実際に体験学習を行う。振り返りは引地台公園で行う。気になるのは雨が降った時どうなるかが気になる。

(委員) 講師について、自然を楽しく、子どもだけでなく大人にも伝える技術は日本で一番だと思っている。雨のときは雨の楽しみを伝える技術を持っており、アドリブも使って、台風や大雨でない限り楽しめると思うので、雨天実施でよいと考える。

(委員) 振り返りで部屋が必要であれば、野球場の会議室なども利用できると思うので、スポーツ余暇みどり財団などへご相談いただければ協力できる。

(委員) 時間配分について、講義を1時間でやるのか1時間半でやるのか。なるべく講義を少なくし、体験の時間を多くとり、共有する時間をメインにもって行った方がよいと考えるがどうか。

(市) 講義をするにあたり、学習センターの工作体験を考えた後、講義資料を作成していったところ、講義全体のボリュームが多くなってしまった。少ない資料で多く話すのも難しいため、資料の内容は基本的にはこのままで、講義の中で時間を見ながら省略する部分は省略し、体験やワークの時間を多く取れるよう進行したいと考えている。また、定員を40名としているのは、グループワークで5人1組×8組、40名先着順とする。

(委員) グループワークは6人以上にするとお客さんが出てしまうため、5人で良いと思う。4名ベースでもよいくらいである。

(委員) 講師の佐々木さんはテレビにも多数出演されていることから、多くの方からの申込みが想定されるが、40名定員というのは固定か。定員オーバーとなった場合、今回はということでお断りすることになるか。

(市) できるだけ多くの方に参加いただきたいが、昨年は結果として少ないということもあった。

(議 長) 40 名に限定せずに、会場の定員としては 100 名まで入れる。さすがにそこまでの人数は集まらないとは思いますが、それくらいの思いでやりたい部分ではある。

原則、申込みが多くあればそこは 40 名にこだわらず受け入れたいと思うがいかがか。

(委 員) 異議なし

(委 員) 講話の流れ、内容については社会教育主事に一任する。このような内容で講義いただければと思う。

(委 員) 対象としての確認であるが、柳橋小を中心に声掛けをし、柳橋コミセンで実施するという事よいか。福田小を含むくらいか。市内全域とするか。

(議 長) 市内全域にはしない。柳橋小を対象とし、たまたまチラシを見た人も受講可としたい。その他詰める事項はあるか。今後の日程については事務局から後で話があると思うが、また有志が集まって検討を行うこともあると考えている。

(委 員) できれば時間割のような、各人の役割が記載されたものがあればよいと考える。自分がどの役割でどのように動くかシミュレーションしたい。

(議 長) 次の会議の際には当日の動きを含めて確認したいと思う。では、今日はここまでとする。

その他何かあるか。

(市) 次回の予定について、通常であれば 10 月頃となるが、その前に臨時会を開催する可能性がある。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正があり、第 23 条において教育委員会の事務の一部を市長部局へ移すことができるという改正がある。社会教育施設の設置に関する管理・運営事務を市長部局へ移すことができるという内容となっており、現在情報収集中である。今後市長部局へ移る可能性があるため、教育委員会の意見を聞く前段で社会教育委員会議を臨時で開催する可能性がある。

(議 長) 事務局から 10 月で参加が難しい日があれば教えてほしい。

(各委員より発言あり)

(議 長) では、火曜・水曜を外し、10 月 1 日～4 日、8 日、18 日以外で事務局に調整いただくということでよいか。

(委 員) 異議なし。

以上で議事を終わる。

<閉会>

会議資料

- ・ 令和元年度第 2 回社会教育委員会議定例会 (第 3 1 期) 次第
- ・ 第 31 期大和市社会教育委員名簿
- ・ 点検・評価シート (2) 大和市生涯学習推進計画 (教育委員会所管分)
- ・ 令和元年度社会教育委員会議から選出する委員 (案)
- ・ 令和元年度社会教育委員に関する研修会等 (案)
- ・ 家庭教育支援事業企画立案書